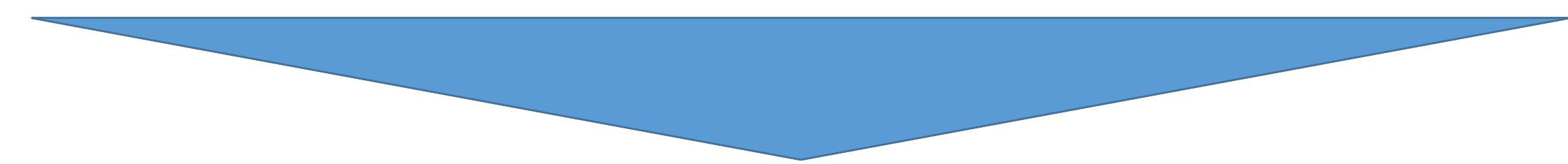


全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>【成果】 ○各教科で、無解答率は全国平均よりも低く、設問に対して粘り強く解答しようとしている。 ○国語では、文章から必要な問題を読み取り、自分の考えや答えを工夫して書くことができる。 ○数学では、「資料の活用」での知識が定着しており、用語を正しく理解している。 ○理科では、化学的領域と生物的領域で正解率が高く、全国・県平均を上回っている。</p> <p>【課題】 ▲国語では、選択問題での問題の意図や趣旨・文章を客観的に把握することに課題がある。 ▲数学では、筋道を立てて、証明したり、見いだしたりすることを数学的表現を用いて説明することに課題がある。 ▲理科では、地学的領域に課題がある。また、実験から必要な情報を適切に読み取る力が十分とは言えない。</p>	<p>【成果】 ○「自分で計画を立てて勉強している」生徒が全国平均を上回っている。 ○家庭学習の習慣が身に付いてきており、「家で、学校の授業の予習・復習をしている」生徒が多く、全国平均を上回っている。 ○起床時間や就寝時間など生活リズムが安定している生徒が多い。 ○「将来の夢や目標をもっている」生徒が多い。 ○平日2時間以上勉強している生徒が増加傾向にあり、県平均を上回っている。</p> <p>【課題】 ▲平日に家で「テレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりする」生徒が多い。 ▲地域行事に参加している生徒は多いが、ボランティア活動にはそれほど多く参加していない。</p>



改 善 策
<p>学 校 で の 取 組</p>
<p>1.授業研究 ・金中授業モデルの実施(目標の提示～授業の振り返り) ・協働学習やアクティブラーニングを取り入れた授業の実践</p> <p>2.思考・判断・表現に関わる活用力の育成 ・自分で考え伝えたり、表現したりする活動を積極的に授業に取り入れていく。 ・各教科でも、文章題(資料やグラフ等)に積極的に取り組む。 ・文章の説明が長い問題や複雑な問題では、表や図に整理する練習を行う。</p> <p>3.基礎的・基本的分野の定着に向けての取組 ・授業の中で既習事項との関連を図り、復習の時間を取り入れる。 ・朝活動や帰りの会で各教科の復習を中心とした基礎プリントに取り組み、基礎・基本の理解と定着を図る。</p>
<p>中 学 校 区 で の 取 組</p>
<p>○あいさつ、靴そろえ、無言清掃、自主学習ノート等、共通した取組の実施 ○「早寝・早起き・朝ごはん金光」学力アップ大作戦の中学校区全体での実施 ○小中それぞれの授業研究会への参加</p>
<p>家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い</p>
<p>○保護者の協力を得て、家庭での学習時間の確立を図る。 ・定期テスト計画表に保護者のチェックとコメントをもらう。 ○「早寝・早起き・朝ごはん金光」学力アップ大作戦を保護者にチェックしてもらうことで、生活習慣の見直しや改善を図る。</p>